

平成29年度 第4回市民参加及び協働推進委員会会議録

- 日 時 平成29年11月13日（月） 午後7時～午後8時30分
- 場 所 市役所2階 市長公室
- 出席者 委 員：朝賀委員、阿由葉委員、有賀委員、桑原委員、長ヶ原委員、
富田委員、根岸委員、吉岡委員、渡邊委員
事務局：古寺協働推進課長、石川協働推進課副課長、
赤田協働推進課主査
- 欠席者 委員：金子委員
- 傍聴者 非公開のため、なし

内 容	
古寺課長	1. 開 会 開会あいさつ
委員長	2. 委員長あいさつ あいさつ
事務局	3. 議 題 (1) 協議事項 富士見市市民参加及び協働推進委員会条例第6条第1項の定めにより、阿由葉委員長が議長となり、議事を進行した。 ①富士見市協働事業提案制度 市民提案型協働事業プレゼンテーションによる選考について 提案者によるプレゼンテーションを11月7日に実施し、平成29年度富士見市協働事業提案制度審査要領に定める審査基準に基づき選考を行う。各委員には、提案された協働事業について意見等を提出していただき、推進委員会として、協働事業の選考に関して意見を提出する。 資料1 平成28年度富士見市協働事業提案制度 市民提案型及び行政提案型協働事業の選考に関する意見について

提案事業①「野良猫の不妊手術事業」

資料2 平成29年度富士見市協働事業提案制度市民提案型協働事業
富士見市市民参加及び協働推進委員会各委員による意見
提案事業①「野良猫の不妊手術事業」

《各委員の意見》

- ・現状で餌付け方法に問題があり、そのルールの周知も含めて実施してほしい。
- ・野良猫増加を防ぎ、猫と地域が共存するためには有効な事業である。
- ・野良猫の譲渡も実施している団体であり、市としても支援してほしい。
- ・殺処分ゼロを目指すという目的に賛同する。

《市民提案型協働事業の選考に関する意見》

協働事業として実施すべきである。

事業の実施にあたっては、関係機関と連携し、野放図な餌やりを防止するため、広く活動の周知・啓発を実施していただきたい。

※委員の意見により、付帯意見を後日修正

事業の実施にあたっては、関係機関と連携し、野放図な餌やりを防止することも含めて、広く活動の周知・啓発をしていただきたい。

提案事業②「座敷ぼうき製作技能伝承者の育成事業」

資料3 平成29年度富士見市協働事業提案制度市民提案型協働事業
富士見市市民参加及び協働推進委員会各委員による意見
提案事業②「座敷ぼうき製作技能伝承者の育成事業」

《各委員の意見》

- ・産業としては終了しているが、復活させる好機である。伝承することで、将来的にぼうきの販売などのビジネスにつながればよい。
- ・大人が継続していかなければ、次世代への継承は難しい。
- ・難波田城資料館一帯が将来観光化すれば、この事業を活かせると思う。
- ・材料であるハウキモロコシの確保も課題である。
- ・提案団体内での指導者育成のための補助ではない。広く市民へ向けたぼうき作り文化の周知事業とすべきである。
- ・団体と行政が協働することで、市のぼうき作り産業について、小学校などで教えられるようになるとよい。
- ・講師が高齢のため今継承しなければとのことだが、他に人物はいないのか。

《市民提案型協働事業の選考に関する意見》

協働事業として実施すべきである。

事業の実施にあたっては、座敷ぼうきの伝承事業として取り組み、富士見市のほうき作り文化を広く市民へ周知し、伝承者の育成に努めていただきたい。

提案事業③「たんぼラグビー&出張タグラグビー体験会」

資料4 平成29年度富士見市協働事業提案制度市民提案型協働事業
富士見市市民参加及び協働推進委員会各委員による意見
提案事業③「たんぼラグビー&出張タグラグビー体験会」

《各委員の意見》

- ・ラグビーの普及が目標で、そのためにタグラグビーやたんぼラグビーを行うという提案がわかりにくい部分もあった。
- ・たんぼラグビーは、泥遊びの機会にもつながり、よい。
- ・ラグビーワールドカップに向けて実施するには、いいタイミングである。
- ・市内の小・中学校やスポーツ団体等の協力と、保護者の方々の理解を得た上で、実施する必要がある。
- ・東大久保の菜の花フェスタの事例もあるので、土地の権利者との間でたんぼ利用の問題が排除できれば、事業にチャレンジしてもよいと思う。
- ・市の事業として実施するのであれば継続していくことが望ましく、広報活動に力を入れ、集客をしていかなければならないと思う。

《市民提案型協働事業の選考に関する意見》

協働事業として実施すべきである。

事業の実施にあたっては、市内小・中学校やスポーツ団体等と連携し、子どもや保護者の方々への広報活動に取り組んでいただきたい。

提案事業④「ペット動物災害対策事業」

資料5 平成29年度富士見市協働事業提案制度市民提案型協働事業
富士見市市民参加及び協働推進委員会各委員による意見
提案事業④「ペット動物災害対策事業」

《各委員の意見》

- ・行政が地域防災計画として実施する事業で、市民提案型協働事業として行う事業のものなのか、疑問がある。

	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所の受け皿づくりは行政で行うが、災害時に備えた、避難用品の準備や日常の躰等の啓発を団体側で実施し、ペットが周囲に受け入れられるようにすすめていくという事業である。 ・啓発や広報活動は、防災訓練だけでなく、例えば市の祭り等でも実施してほしい。 <p>《市民提案型協働事業の選考に関する意見》</p> <p>協働事業として実施すべきである。</p> <p>事業の実施にあたっては、防災訓練に限らず、広く市民の集まるイベントで広報・啓発活動をしていただきたい。</p>
事務局	<p>4 その他</p> <p>①会議日程について</p> <p>次回以降の会議日程 平成30年1月下旬頃開催予定。</p>
委員	<p>②その他</p> <p>＜意見＞</p> <p>12月実施予定のパブリックコメントに第2次富士見市教育進行基本計画(案)があるが、市民参加を促すよう広報活動に力を入れてほしい。</p>
事務局	<p>今回の意見について、所管課へ伝える。</p>
	<p>5 閉 会</p>